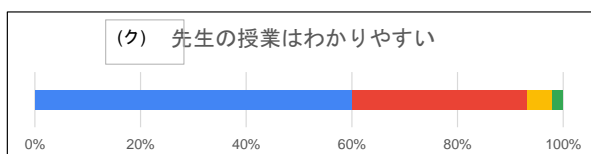
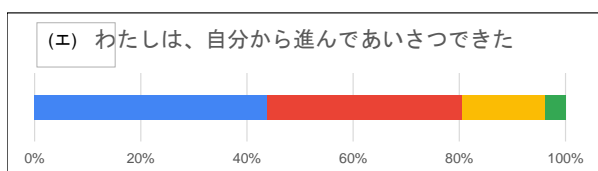
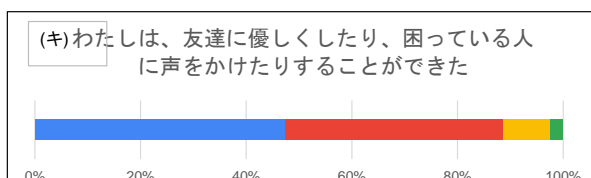
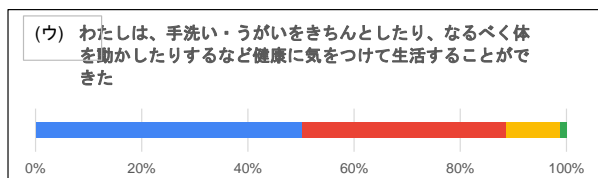
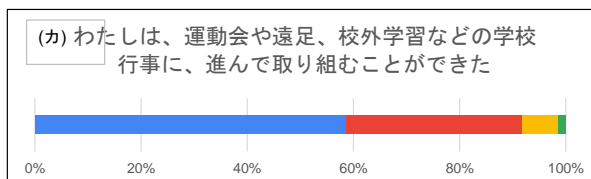
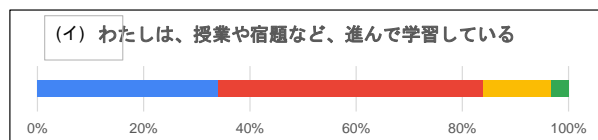
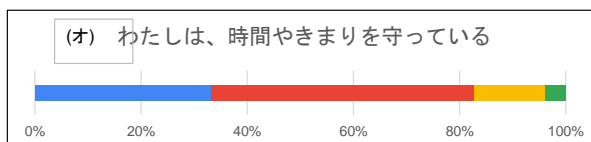
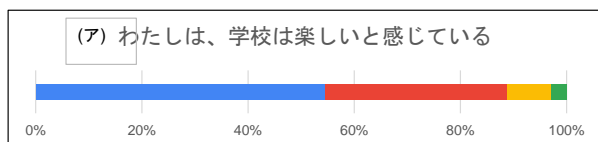


学校評価アンケート 児童



回答は、左から

4→とてもそう思う 3→どちらかというと思う 2→どちらかというと思わない 1→そう思わない

〈全体の傾向〉

全体的に全ての項目において、肯定的な評価が80パーセント以上をしめており、児童が学校生活全般に意欲的に取り組んできたことが分かりました。コロナ禍の中、児童の活動に様々な制約がありましたが、前向きに取り組んできた様子が見て取れます。2や1を回答した児童には一人一人に寄り添ってじっくりと話を聞き、学校・家庭・地域と連携しながら、個に応じた対応・支援をしてまいります。

〈項目別分析〉

4の数値が高い項目としては、昨年度に引き続き「カ・ク」があげられます。児童が学校生活に主体的に関わり、楽しもうとしてきたことが分かります。また、今年新たに「キ」の項目を設けましたが、友達に関心を寄せ、思いやりをもって接することができる児童が多いことが分かりました。教育活動の中で子どもどうしの関わりを大切にするとともにそのよさを伸ばし、生かしていきたいと思えます。

2や1の数値が高い「イ・エ・オ」の項目については、学校生活のあらゆる場面で指導・支援をしてまいります。

